

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマートキッズジュニア王子公園		
○保護者評価実施期間	2025年12月3日		～ 2026年1月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	2025年12月3日		～ 2025年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月12日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	送迎時や面談を通して、利用児童の様子を相互に伝え合い、保護者と職員全員が共通理解のもとで支援を進めることができている。	送迎時には利用児童の様子を共有し、自己入室等の児童に対しても定期的に保護者に様子をお伝えしている。保護者や学校からの要望に応じて連携会議を行うなど、困りごとやニーズに応じた対応を行っている。	利用児童の様子を職員間で共有するだけでなく、そこから考えられる強み、課題を検討し個別支援計画や日々の支援に生かしていく。
2	5領域を意識し、個別・集団の両方から活動内容が固定化されないように職員全員で療育活動の立案を行っているため、療育活動を楽しみにご利用いただいている。	毎月のテーマに合わせて職員全員で分担し、活動の立案を行っている。また、毎月就労週間を設け、就労や自立を見越したジュニア教室ならではの活動も実施している。	利用児童が楽しみながらも目的意識を持って活動に取り組めるよう、事前に職員間で活動の目的や支援のねらいを共有する。また、就労に向けた活動を通して、利用児童一人ひとりの強みや課題を把握し、将来の進路選択や自己理解につながるよう支援していく。
3	保護者からの相談や支援に関する課題等を業務前ミーティング時に必ず職員間で共有することで、教室全員で対応することができ、職員の支援の質向上にもつながっている。	毎日の業務前ミーティングでは、保護者からの相談や利用児童に関して気になることを全職員で共有している。また、教室内で就労に関する研修を行うなど支援の質向上を目的とした取り組みもしている。	ミーティング時に支援に関する課題や困りごとを職員間で共有し、必要に応じて事例検討を行うことで、職員全体の支援力の向上と利用児童への支援の質の向上を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時のマニュアルや訓練の様子などの取り組みについて、説明機会の充実や周知方法の工夫を検討する必要がある。	療育活動での訓練の様子については送迎時等に口頭で伝えているが、保護者にとっては実際の活動内容や取り組みの様子がイメージしにくい場合がある。	ブログやニュースレターを活用して療育活動の様子を写真で発信し、教室での具体的な取り組みが保護者に伝わるよう努めていく。また、非常時のマニュアルやハザードマップについて保護者へ説明する機会を設けるとともに、必要に応じて資料の配布を行い、理解の促進を図る。
2	保護者会や療育参観など保護者同士が交流できる場が少ない。	保護者会は年度末に実施しているが、年1回の開催にとどまっており、日程調整の関係から参加できる保護者が限られている状況が見られる。	保護者会の参加機会を増やすため、年度内に複数回の開催を検討するとともに、事前にニーズの聞き取りを行うことで、より多くの保護者が情報共有や意見交換に参加できる体制を整えていく。
3	ブログの更新頻度は向上しているものの、療育内容や取り組みの具体的な様子が十分に伝わる工夫が必要である。また、ブログを定期的に更新していることが保護者に十分周知されていない状況がある。	保護者への周知方法が十分でなく、更新されていること自体が認知されていない。療育活動の様子について保護者がイメージしやすいように、掲載する写真や文章の工夫がさらに必要である。	ブログ更新のタイミングや内容を定期的に保護者に配布物等を用いて周知し、情報が確実に届く体制を整える。ブログの見やすさや内容の構成を改善し、短くわかりやすい文章や見出しを活用して、保護者が活動の様子をイメージしやすい形式にする。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 スマートキッズジュニア王子公園

公表日 2026年 3月 18日

利用児童数 24名

回収数 20名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	2	0	2		法令に基づいた十分な広さを確保することができている。活動内容に応じてスペースで区切り環境設定を行っている。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1	0	3	人数をしっかりと配置されていて安心して預けられます。	法令上必要な基準人員に加えて児童指導員、専門的支援職員等を配置している。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	1	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	18	1	0	1		
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	0	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	19	1	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	2	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	7	4	7		事業所の特性上、地域の他の子どもと行動をする機会を設けることは難しいが、地域の作品展への出展等を通して交流を図っていきたい。
保護者へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	3	2	7		家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会を設けられるよう発信をしていくようにする。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	19	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	0	0	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1	0	0		

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	6	4	4	保護者同士の交流イベントがあれば嬉しいです！	保護者会を実施したが、参加できる保護者が限られていたため、複数回開催をすることも事前にニーズの聞き取りを行い、できる限り多くの保護者が参加できるように要望に沿って柔軟な対応をしている。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	2	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	2	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	1	0	4		ブログにて月1件以上は活動内容の報告を実施することができているが、更新有無を周知できていない面がある為、お便りにURLを貼る等して発信できるようにしていきたい。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	0	0	0		
	非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	0	0	5	
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	0	0	5		月1回避難訓練を実施しているが週1回利用の児童が多く、日程が合わないこともある為参加できなかった月にも訓練の様子をニュースレターやブログ等を通して共有できるようにする。
25		事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1	0	4		安全確保計画について、お便りの配布だけでなく、保護者会等の機会を通して周知できるようにする。
26		事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	0	0	4		契約時には説明を実施しているが、ご利用年数が長い方も多いため、年度毎に説明をする機会を設けていくようにする。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	4	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	0	0	0	いつも助かっています。ありがとうございます。	今後も高い満足度を得られるように、全職員の支援力の向上、提供する支援の質の向上を図っていく。

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
スマートキッズジュニア王子公園		2026年 3月 18日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	座席を分けたり、教室内を半分に区切り活動を行ったり、余暇時間と勉強スペースを分けるなどの工夫をしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	児童発達支援管理責任者と基準人員に加えて心理担当職員や児童指導員加配職員を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	スケジュール表や座席表を視覚的に掲示し、玄関の段差にはスロープを付ける等の環境所の配慮を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日開室・閉室チェック表に基づいて清掃を実施している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげられるよう努めていることを新入社員等にも説明していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	業務前ミーティングや個別での面談を実施することで職員の意見を把握する機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		第三者からの外部評価があった際には、評価結果を業務改善につなげられるよう努めている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	経験年数や役職、職種に応じて研修を受講する機会が確保されている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	個別支援計画作成時には日々の記録や標準化されたアセスメントシートを用いてアセスメントを行い、保護者との面談を行った上で利用者の発達段階に応じた計画が作成されている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	策定会議を通して職員間で個別支援計画の共有を行い、計画に沿った支援を実施している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	全職員が活動の計画に関わり、担当することができている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	毎月に領域や担当職員を設定しているため、チームでプログラムの立案を行うことができている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	業務前ミーティングを実施し、当日の送迎や支援内容、職員の配置等の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1		送迎時間や勤務時間の関係により改まったMTGの場を支援後に設けることはできていないが、気になったことは都度共有し合い、翌日のMTGにて振り返りを実施している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	個別支援計画の内容に沿ってご利用があった当日に記録を作成している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	発語が難しい児童も本人の意思を尊重するために視覚支援ツール等を用いて自己選択ができるように支援を行っている。	
	関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	
27		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
28		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	送迎時に情報共有を行っている。気になったことがあった際には電話や関係機関連携を通して共有を図っている。	
29		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0		
30		学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	5		現在卒業した児童がいないため実施していないが、障害福祉サービス事業所の見学を行ったりするなど関係作りを行い、今後移行した際も連携が取りやすいようにしている。
31		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2		児童発達支援センターからご利用児童の紹介等をしていただくことはあるが、スーパーバイズや助言等を受ける機会を設けることはできていないため、必要に応じて連携を図れるよう関係性の構築に努めていきたい。
32		放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		事業所の特性上、地域住民を招待すること等は難しいが、自立支援協議会や子ども部会への参加、地域の作品展への出展等を通して、地域に開かれた事業運営を実施していくようにする。
33		（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0		灘区の子ども部会に参加をしている。
34		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
35		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		中高生対象の教室であるため、就労や進学、自立に向けて保護者のニーズに応じて研修・説明会等を実施できるように検討していきたい。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0			

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5		保護者会を3月に実施予定の為ガイドライン実施時には開催できていなかった。保護者会に向けての日程調整や内容の検討を早めに職員間でも周知できるようにしている。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	ニュースレターやお便り、ブログを用いて療育内容や教室内での様子を保護者に発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	送迎時や面談時に児童の成長の様子や今後の目標、ご家庭での様子などの情報共有を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	地域で行われているイベントに作品の作品展等を通して参加し、地域との交流を図っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	年度ごとに毎年基本情報シートにて確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	アレルギー表を事務所に掲示し、おやつ提供時にはアレルギーの有無を複数名の職員で確認するようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	事故や危険に繋がる事例があった際にはヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有を行い、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	定期的に研修を行い、他教室の職員を交えた第三者目線からの意見も取り入れ、今までの行動を振り返るなどし虐待の防止につなげている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	個別支援計画作成時に身体拘束の説明を行い、同意を得ている。		